

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
論理国語	3	A B C D E F	3	必修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	『論理国語』(三省堂)
使用教材等	『読解評論文キーワード改訂版』(筑摩書房)、『意味から学ぶ頻出漢字3000』(第一学習社)、『新国語総合ガイド5訂版』(京都書房)、『評論速読トレーニング』(数研出版)、『共通テスト対策実力養成重要問題演習現代文』(Learn-S)、『プログレス現代文総演習発展編』

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>A 「情報の『メタ』化」</p> <p>【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</p> <p>【態】進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>A 「情報の『メタ』化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】文章の段階的な論理構成について理解を深めている。</p> <p>【思】文章の段階的な論理構成を的確に捉え、「思考の整理」に対する筆者の主張を把握している。</p> <p>【態】進んで文章の段階的な論理構成について理解を深め、「思考の整理」に対する筆者の主張を把握し、新聞記事の情報をより高次の情報に整理して説明したり話し合ったりしようとしている。</p>
	<p>B 『ぬくみ』</p> <p>【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語彙を豊かにする。</p> <p>【思】題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【態】論理的な学習の基礎を学ぶに必要な語句を増やし、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証・討論する。</p>	<p>B 『ぬくみ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】近代社会について説明した語句を理解し、説明することを通して、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】身近な例を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】進んで近代社会について知ろうとし、学習課題に沿って、身近な例に関係づけて自分の考えを広げ、討論しようとしている。</p>
	<p>C 『市民』のイメージ</p> <p>【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</p> <p>【態】資料との関係を捉えようとして内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論証したり討論したりする。</p>	<p>C 『市民』のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】「民」の意味や使われ方を理解し、本文中の「市民」の意味を捉え、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】米国の陪審制度の例示から、筆者がどのように主張を導いているかを把握し、内容を的確に捉えている。</p> <p>【態】「市民」という言葉の意味や用いられ方を理解し、米国の陪審制度の例示と筆者の主張との関係を捉え、本文を踏まえて考えたことをもとに討論しようとしている。</p>
2	<p>D 『である』ことと『する』こと</p> <p>【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</p> <p>【態】資料との関係を捉えようとして内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論証したり討論したりする。</p>	<p>D 『である』ことと『する』こと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】語句・漢字の意味や用法、比喩表現が表す内容を理解している。</p> <p>【思】具体例や比喩表現と筆者の主張との関係を把握し、内容を的確に捉えている。</p> <p>【態】語句・漢字の意味や用法、比喩表現が表す内容を理解し、具体例や比喩表現と筆者の主張との関係を把握し、身近な例について「である」「する」論理の観点から自分の考えを論証しようとしている。</p>
	<p>E 「南の貧困/北の貧困」</p> <p>【知】文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>【思】人間、社会、自然などについて、文章の構成や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、自分の考えを深める。</p> <p>【態】</p>	<p>E 「南の貧困/北の貧困」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・記述問題における解答の構成の仕方について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】文章の構成を捉え、具体例から抽象的な命題がどのように導き出されるか理解している。</p> <p>【思】貧困について、文章の内容と社会的問題を結びつけて、自分の考えを深めている。</p> <p>【態】具体例から抽象的な命題がどのように導き出されるか理解し、文章の内容と社会的問題を結びつけて、自分の考えを深め、論証しようとしている。</p>
3	<p>F 「問題演習」</p> <p>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</p> <p>【思】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【態】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>F 「問題演習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味 ・共通テスト対策について <p>・教材 教科書、プリント</p> <p>一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。</p> <p>【思】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>【態】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身につけている。</p>